学校だより

大いちょう No.11

令和５年１０月　６日発行
ひたちなか市立津田小学校
TEL　２７４－２０１０

前期終業式（R5. 10. 6）

１年間の折り返しとなりました。子供たちは、努力や協力することを学び、勉強や運動、当番や係活動などで、今やらなくてはならないことを確かめながら粘り強く取り組んで力を発揮しています。休み時間には学級で集まってドッジボールをしたり、掃除の時間には教室や廊下、体育館や昇降口などの分担場所で力を合わせて掃除したりするなど、学級毎のチームワークが高まってきました。前期終業式では、代表児童が、夢や目標をもって努力し続けたことで自分の力を伸ばした経験を発表しました。教室では、担任が通知表「いちょう」を一人一人に渡しながら、努力したことを励まして前期の学習を振り返りました。後期の目標に向かって、子供たちが自らの力で取り組めるよう、支援に努めて参ります。

前期終業式児童代表作文

＜２年生＞

わたしは、２年生になったとき、１年生のおてほんになるぞと思いました。なぜかというと１年生にすごいねと言われたいと思ったからです。

わたしが２年生の前きでがんばったことは、こくごのべんきょうです。テストで100 点をとれるように、文しょうをよくよんでがんばりました。ちょうせんしたことは、さかあがりです。なかやすみとひるやすみになんどもちょうせんしました。

２年生のこうきでがんばりたいことは、足をはやくすることです。そのためになんどもなんども友だちとかけっこをしたりおにごっこをしたりしたいです。あと、やすみの日にはしるれんしゅうをしようと思います。

がんばってたくさんれんしゅうして、いまよりも足がはやくなりたいです。

＜５年生＞

私は、前期にがんばったことが三つあります。

一つ目は、学習です。私は算数があまりとくいではなく、にがてでした。なぜなら、計算するのがおそく、算数の時間内に終わらない時があり、たいへんだからです。でも、先生や友達が教えてくれたので、少しずつできるようになって今では算数の時間内に終わるようになったのでうれしかったです。これからも、時間内に正しく計算できるよう、くり返し練習をしながら、がんばっていきたいです。

二つ目は、委員会活動です。５年生になって委員会が始まり、私は代表委員会に入りました。代表委員会では、津田小をよりよくするための活動をします。その活動を通して分かったことがあります。それは、協力し合うことの大切さです。委員会は自分の仕事だけをやるのではなく、みんなといっしょに協力し合ってやることで、より津田小をよくしていけることが分かりました。

三つ目は、宿泊学習です。私は、宿泊学習で学んだことがあります。それは、マナーを守るということです。マナーを守ることによって、友達やお世話になっているしせつの人たちにめいわくがかからず、集団生活がより楽しくなりました。もう一つは、協力とせきにんの大切さです。私は、実行委員長やはん長をつとめました。みんなでがんばって協力すると、たいへんなことでも、支え合うことができることが分かりました。そして、自分の仕事や役わりに対して、せきにんをとることも大事だということが分かりました。

私は、前期にがんばったことをいかし、高学年らしくがんばっていきたいなと思いました。そして、前期にできなかったことも後期に努力し、６年生に向けてがんばりたいと思います。

４年生　防火・防災教室(10/2)

ひたちなか・東海広域事務組合消防本部の消防士を講師にお招きして、防火・防災教室を行いました。消火器の使い方を体験したり、ハザードマップを見たりして、火事や自然災害時の備えについて学びました。命を守ることを最優先にすることや、学区には避難場所が複数あることを確認しました。また、中休みに実施した避難訓練をご覧いただきました。周りに大人がいなくても、黙って放送を聞き、その後、高学年が低学年を避難場所に誘導できていたことに感心されていました。助け合う気持ちの大切さについてご助言くださいました。